

□ J P A 震災情報 (第 15 報) -----2011.3.29*

○民主党障がい者政策 P T ・ 難病対策 W T 合同会議が 3 月 29 日朝に開かれ、 J P A から坂本常務理事と水谷が出席しました。

民主党が「復旧・復興特別立法チーム」による震災対策についての特別立法を検討するなかで、同党厚生労働部門会議 (座長=石毛えい子) による意見とりまとめの前に、患者、障害者団体からの意見を聞くために開かれたものです。

J P A からは、昨日、厚生労働大臣および菅内閣総理大臣に提出した緊急要望書を提出したのと同じ内容で、(N P O) 難病のこども支援全国ネットワークと連名の緊急要望書を資料として提出して臨みました。 3 0 団体以上の障害者団体が出席。 P T 座長の谷議員があいさつし、難病対策 W T 事務局長の玉木議員が司会を務めました。最初に難病・慢性疾患団体を代表して J P A と難病のこども支援全国ネットワーク、障害者団体を代表して J D F (日本障害フォーラム) からそれぞれ 10 分づつ発言し、以後、出席した団体からの挙手による発言というかたちで進められました。

J P A から水谷が発言。難病・慢性疾患患者にとっては医療と薬がまさにライフライン。被災地、避難所での救援、支援がいつそう進むように力を尽くしてほしいとして、要望書のなかでも医薬品の供給の問題、避難所での医療体制の確保、地域での医療体制の整備や、今後のネットワークの確立などについて要望し、最後に、これから慢性期の支援体制が災害対策全体で求められるなか、難病や障害者対策は特別なことではなく国民全体の課題であることを痛感したと述べ、歩み出した障害者制度改革は確実に進めていただきたいとつけくわえました。

難病のこども支援全国ネットワークの小林さんは、被災地の難病のこどもたちや親の生々しい声などを紹介しながら、安心して医療にかかれるよう、一日も早い対策をとってほしいと訴えました。

J P A ・ 難病のこども支援全国ネットワーク連名の要望書、 J D F (日本障害フォーラム) の要望書、全腎協緊急要望書を添付します。

他に、各団体からの要望書が出されました。

【ニュース記事から】

○甲状腺ホルモン剤チラーヂン 一部供給再開

- 4 月中旬に通常の供給目指す

(2011 年 03 月 28 日 14:20 キャリアブレイン)

<https://www.cabrain.net/news/article/newsId/33309.html>

あすか製薬は 3 月 25 日、東日本大震災で福島県いわき工場が被災し、供給が困難となっていた甲状腺ホルモン剤「チラーヂン S 錠」について、いわき工場からの供給を一部再開したと発表した。4 月中旬には、必要な供給量を安定的に確保したいとしている。 広報担

当者によると、「国内の服用者は30万-60万人と推計しており、今回一部再開したいわき工場の生産分だけでは依然として十分な供給確保は難しい」という。通常通りの供給を早期に再開するためには、▽製造委託会社による生産▽海外製品の緊急輸入▽いわき工場の操業再開の3条件が必要としており、製造委託や海外製品の輸入の手続きについては、「順調に進んでいる」という。

薬事日報「チラーヂンS錠の生産再開 - あすか製薬いわき工場の製造ライン復活

<http://www.yakuji.co.jp/entry22490.html>

あすか製薬お知らせ (第2報)

<http://www.aska-pharma.co.jp/pdf/company/news20110325>

○宮城の医療連携 再構築の糸口見えず- 関係者ら「慢性期医療への支援を」(2011年03月27日 00:19 キャリアブレイン)

<https://www.cabrain.net/news/article/newsId/33305.html>

○障害者、難病患者の震災救済策提言へ- 民主合同会議、関係団体からヒアリング(2011年03月29日 14:53 キャリアブレイン)

<https://www.cabrain.net/news/article/newsId/33325.html>

○被災地の公衆衛生「まだ急性期段階」

- ・自衛隊やDMATと連携。150人の入院患者を搬送
- ・慢性期医療の支援に「国が思い切った対策を」
- ・急がれる避難所の現状把握

<https://www.cabrain.net/news/article/newsId/33324.html?src=recom>

○福島から保健師増員要請、追加派遣へ- 厚労省
(2011年03月28日 22:35 キャリアブレイン)

<https://www.cabrain.net/news/article/newsId/33323.html?src=recom>

○被災地に家庭医が必要...山梨(2011年3月25日 読売新聞)

<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=38628>

【患者団体からの連絡・情報】

○全国心臓病の子どもを守る会-----
(事務局通信「ハットはあと」臨時号2011年3月27日付より)

【東北地方太平洋沖地震関連情報】(2011/03/27 本部事務局発)

■ 被災地の支部より

宮城県支部 会員みなさん、全員無事を確認！

(事務局・島途さんからメールをいただきました)

こんにちは。ようやく 2 名の会員さんに連絡つきました！お一人は、やはり津波で 80 センチ浸水して家がめちゃくちゃとの事でしたが、家族全員ご無事とのこと。ほっとしました。スーパーも平常通りに物が買えるようになりました。仙台市内は徐々に普通の生活が取り戻せています。

■ 支部を通じて病院の情報をうかがいました

愛知県からも情報が届きました。(支部長・牛田さんよりのメール) 愛知県 あいち小児保健医療総合センター心臓外科・前田正信先生へのメール

前田先生 愛心会の牛田です。

突然で恐縮ですが、次の 2 点についてお教えいただきたくメールしました。

1 今回の大震災での患者被災者が、愛知県内への避難をされた場合に、医療機関としての受け入れ体制はどのように検討されているのでしょうか。県下医療機関への受診の際の留意点などはどのようなことでしょうか。また、会として医療機関への紹介はできるのでしょうか。

2 今回の大震災を踏まえて、現時点で「先天性心疾患患者・家族」が「震災への備え」としてどのようなことを考えたらいいのでしょうか。

愛知心臓病の会としては募金活動しかできていませんが、会または会員が何かできることのアドバイスがあればいただきたいと思います。よろしくお願いします。

<前田先生よりの返信>

今回の震災で大変な被害となり、東北の医療機関が半分麻痺している状況です。県の病院からさまざまな支援体制で望んでおります。われわれのところには心の病気のチームが割り当てられ 4 月に交代で出かけて、その後 4 月 5 月は小児科チームが待機しております。病院の患者の受け入れはまず宮城子ども病院にそれから学会で患者受け入れの可能な数を教えてくださいとの問い合わせに、「当院として ICU 患者 2 床、透析患者 2 床、一般病床患者 10 床及び患者家族宿泊施設 4 部屋分はすぐ受け入れ可能です」との返事をしました。問題は交通手段なので、初期段階では災害対策本部のヘリコプターを使用する事でしたが、交通手段が確立されれば個別な一般患者はいつでも受け入れ可能です。当センターとしては急いで手術をしなくてはならない例であれば、現在予定として入っている方に少し待つていただくことにはなりますが、急ぎの被災地の方は優先して行おうと思っています。まだ今のところはその依頼は来ておりませんが、これからあるかもしれません。心臓病の会の方からの依頼があれば出来る限り対応させていただきます。われわれのところはどんぐりハウスという家族宿泊施設があるので家族ごと来られても対応できるので被災地の方に発信していただいても結構です。被災されている方々であれば宿泊は無料提供しようと思

っています。

2の質問ですが、とりあえず、在宅酸素患者であれば、酸素供給のために電源が確保できるか、そうでなければ病院に来られることですか。あとは薬のある程度の備蓄でしょうか。

☆各疾病団体の取り組みや情報を、JPA事務局にお送りください。